

保護者等からの事業所評価の集計結果 (公表)

公表:令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 社会福祉法人つみき つみき第2 保護者等数(児童数) 42 回収数 21 割合 50 %

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
環境・ 体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	21				参観を通じて、のびのび活動ができるスペースがあると感じた。	限られたスペースを広く使えるよう、物の配置を工夫していきます。
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	20			1	他の施設より多く、信頼できる。	
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	17	3	1		入口がスロープになってほしい。入口が階段でエレベーターがない。	建物の構造上、エレベーターや常設スロープ設置が難しいので、簡易スロープを購入しました。しかしながら、傾斜がきつくと実用化は難しいです。一度試してみたいとのことがあれば、お気軽に職員にお声かけ下さい。今後新たな対策を検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境となっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	21					
適切な 支援の 提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	21				いつも丁寧、適切な作成頂き、ありがとうございます。	今後とも子ども一人ひとりの課題に沿った支援計画書となるよう、定期的な見直しを行っていきます。
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	21					
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	21					
	⑧	活動プログラムが固定化しないよう工夫されているか	20			1	遠足があったのが良かった。写真から様々なことを経験出来ていることが伝わる。	活動プログラムについては、一人ひとりの支援計画を踏まえ、固定化しないよう取り組んでまいります。
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	10	4	1	6	そういった交流が必要なのか「どちらのいえない」ように思う。コロナ禍で難しいと思う。求めてはいないが、あったらいいなと思います。	コロナ禍でもあり、認証保育園との交流会を1回しか行うことが出来ませんでした。コロナが収束しましたら、機会を増やしたいと考えております。児童館や公園で障害のない子どもと関わる機会をこれからも作っていきます。
保護者 への 説明等	⑩	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	18	2			あまり気にしていないが、少ない気がする。	利用契約時に説明をしています。ご不明な点等があれば、その都度ご説明させていただきます。
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	21					
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）が行われているか	21				保護者向け研修会や勉強会があると嬉しい。	今年度よりペアレントトレーニングを実施しました。今後は保護者向けの研修会や勉強会の計画をしています。

		チェック項目	はい	どちらとも いえない	いいえ	わから ない	ご意見	ご意見を踏まえた 対応
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、 子どもの発達の状況や課題について共通理解 ができていますか	21					
	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に 関する助言等の支援が行われているか	20	1				
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の 開催等により保護者同士の連携が支援されて いますか	11	2	3	3	コロナ禍で難しいのではないかと 思います。	ペアレントトレーニングやつきみコンサ ート、秋祭り、活動参観等で保護者同 士の顔を合わせる機会がありました。 現状、保護者会等の開催の予定はあ りませんが、ご要望がありましたら今後 検討していきます。
	⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、 対応の体制が整備されているとともに、子ども や保護者に周知・説明され、相談や申入れを した際に迅速かつ適切に対応されているか	20			1		
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達の ための配慮がなされているか	21				LINEで連絡できるようになっ て、とても便利になった。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要 や行事予定、連絡体制等の情報や業務に 関する自己評価の結果を子どもや保護者に 対して発信されているか	21					
	⑲	個人情報の取扱いに十分注意されているか	21					
非常時 等の 対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染 症対応マニュアル等を策定し、保護者に周知・ 説明されているか。また、発生を想定した訓練 が実施されているか	17	2		2	引き渡し訓練はなかったが、子 ども達は行われていた。	毎月1回、様々なシチュエーションを想 定し避難訓練を実施しています。 保護者様への直接引き渡し訓練は 行っておりません。今後検討してい きます。
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、 救出、その他必要な訓練が行われているか	20			1		
満足 度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	19	1		1	「つきみにいくよ」というと、嬉し そうに玄関に来る。 長期休暇中は登園リュックを 家で背負っていた。 家を出る際と到着すると泣くの で心配している。 とても楽しく通っている。	このようなお言葉をいただくことで、職員 の意欲にも繋がっています。引き続き、 1人ずつに寄り添い丁寧な支援を心が けていきます。 早くつきみ慣れ、お子さんの安心できる 場となるよう、努力してまいります。
	㉓	事業所の支援に満足しているか	21				愛着を持って通わせている。 満足している。 少しずつ出来るが増えてき て、感謝している。 充実した内容で満足してい る。子の発達に良い刺激となっ ている。 いつも優しい先生方、手厚い 支援感謝している。これからも いろいろな子供達を支援して ってください。 来年から放課後等デイサービ スでお願いします。	今回いただきましたご意見を踏まえ、支 援の充実に一層努めてまいります。

○この「保護者等からの事業所評価の集計結果(公表)」は、保護者等の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業所の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業所における自己評価結果（公表）

公表：令和 5 年 3 月 1 日

事業所名 つみき第2

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
環境・ 体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切である	○		限られたスペースを広く使えるよう、物の配置を工夫しています。	
	②	職員の配置数は適切である	○		東京都の配置基準を満たしています。	利用児の様子や活動内容によって、人手が必要な場合は、柔軟な応援体制を組んで対応していきます。
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっている。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされている		○	建物の構造上入口が階段のため、スロープを購入しました。	スロープを購入しましたが、傾斜がきつく、実用化は困難でした。更なる方法を検討していきます。
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっている。また、子ども達の活動に合わせた空間となっている	○		清掃・消毒については、職員が感染症対策も含めて毎日こまめに行っています。	
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画している	○			
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげている	○			
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開している	○			
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげている		○		現在、実施していません。今後検討していきます。
	⑨	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保している	○		オンライン研修を活用しました。	今後もオンライン研修等を活用し、職員の資質向上に努めてまいります。
適切な支援の提供	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成している	○			
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用している	○			
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されている	○			

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われている	○			
	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っている	○			
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫している	○		マンネリ化しないように、適宜内容の見直しを行っています。	
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成している	○			
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認している	○		毎日必ず朝の打ち合わせをしています。活動内容、支援内容、役割分担を確認しています。	
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有している	○		毎日必ず活動後の打ち合わせをしています。振り返りや気付いた点を共有し、記録に残しています。	
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげている	○		日誌や個別支援記録を作成しています。	
	⑳	定期的にもモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断している	○		年2回の定期的な個別面談や適宜相談に応じるなどして、ニーズの把握に努めています。	
関係機関や保護者との連携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画している	○			
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っている	○			
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合) 子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えている	○		主治医と直接に連絡を取ることはないものの、『主治医指示書』でやり取りをしています。	連絡体制を整えておくことを必須事項・絶対条件とすると、コロナ禍の今は特に施設・家庭・医師のいずれにとっても負担となってしまうため、推奨事項・十分条件という姿勢で取り組んでいます。
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		必要に応じて、関係機関へ連絡し、情報の共有を行っています。	
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っている	○		区の就学支援シートを用いて行っています。特別支援学校の教諭が就学前に訪問することもあります。	
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けている	○		オンライン研修や公開講座に参加しています。	今後も積極的に研修や講座を受講していきます。
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会がある	○		認証保育園との交流を1回行いました。公園や児童館へ出向き、障害のない子どもと関わる機会を作っています。	コロナ禍もあり、交流が難しいです。コロナ禍が明けた際は徐々に再開していきたいと思っています。

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
	㉔	(自立支援) 協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加している	○		各種会議に法人代表者が参加しています。	
	㉕	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っている	○			
	㉖	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っている	○		今年度より実施しました。	より内容が充実するよう、一層努めてまいります。
保護者への説明責任等	㉗	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っている	○		契約時に説明しています。	契約時は書類が多いこともあり、聞き流されてしまうこともあるので、より丁寧な分かりやすい説明を心がけていきます。
	㉘	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ている	○			
	㉙	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っている	○			
	㉚	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援している	○		今年度は、ペアレントトレーニングや秋祭り、活動参観、つみきコンサート等の行事を企画しました。	「父親の会」をしてほしいとの要望があったので、今後検討していきます。
	㉛	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応している	○			
	㉜	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信している	○		月だよりで活動内容、行事予定等発信しています。	
	㉝	個人情報の取扱いに十分注意している	○			
	㉞	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしている	○		保護者とは連絡帳やLINEを活用しています。	
	㉟	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っている		○		コロナ禍もあり、交流が難しいです。秋祭りに地域の方を招けるようになると良いと思っています。
	非常時等の対応	㊱	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施している	○		マニュアルは策定されています。
㊲		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っている	○		月一回避難訓練を実施しています。	
㊳		事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認している	○			

チェック項目		はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた 改善内容又は改善目標
④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされている	○			
④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有している	○		年に一度法人内のヒヤリハットを集計し、研修を行っています。	今後も、ヒヤリハット事例集を作成していきます。
④⑥	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしている	○		職員研修を行っています。	チェックリストを活用し、意識レベルを上げていきます。
④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載している	○		危険防止の為にやむを得ず行う可能性があることは個別支援計画書に記載・説明し保護者の了解を得ています。	

○この「事業所における自己評価結果(公表)」は、事業所全体で行った自己評価です。